

# 育てよう

# 鏡野のよい子シリーズ



## 「三つのあ」

鶴喜小学校に赴任して、二年目になりました。

鶴喜小学校には、とてもわかりやすい校内生活重点目標があります。それが「三つのあ」です。「あいさつ」「あつまり」「あとかたづけ」の三つが、全て「あ」からはじまることから、「三つのあ」と称しています。私が鶴喜小学校に来た当初は、あまり深く考えず、生徒指導の担当として「三つのあ」の呼びかけを行っていました。

半年ぐらいが過ぎたある放課後のことです。体育館から「ありがとうございしました。」と、すごく大きな声が聞こえてきました。それはスポーツ少年団でフットサルをしている児童たちで、学校では聞いたことのないような声で「あいさつ」をしていたのです。さらに体育館入り口の靴がきれいに揃えられ、コーチの話を真剣に聞く姿を見てはっとしました。これは、学校で指導している「三つのあ」に通じるのではないだろうか。そこで、さっそく次の日の一斉下校でこのことを紹介しました。児童は真剣に話を聞いてくれ、やっぱりこの「三つのあ」は、すごく大切なことなんだと、改めて感じました。そして、自分自身もこの「三つのあ」を、学校だけでなく、様々な場面で大切にしていきたいと、思うようになりしました。

まず、「あいさつ」です。私自身が少年野球をしていた時、コーチや監督から「あいさつの大きさを勝敗が決まる」と指導を受けたことがあります。学校でも朝のあいさつを聞いただけで、なんと

なく子どもたちのやる気や調子が分かります。あいさつといつても様々なものがあります。「いただきます」「ごちそうさま」「ありがとう」などのあいさつを、「きちんと気持ちを込めて言えているかな?」と時々児童に問いかけています。児童が大人になった時、あいさつを大切に、当たり前に行えるような人になって欲しいです。

「あつまり」では、児童たちがおしゃべりせず静かに集まるだけでなく、集まって真剣に人の話を聞くことを大切にしています。児童たちは、おそらくこれから、数え切れないほど何度も集まっても何千回も話を聞くことがあります。その場面場面できちんと話を聞ける人になつて欲しいです。そして、そのとき聞いた話を自分の成長につなげて欲しいと思います。

「あとかたづけ」では、靴を揃えることを始め、自分で使ったものを片付けたりと、みんなが使う物を整理整頓したりし、気持ちよく生活できるようにすることが大切です。運動部などでは、「道具を大事にしない人は、上手に出来ない」と指導を受けることがあります。また、一流選手になればなるほど、自分の道具を大切にすることも言われます。当たり前前に自分の持ち物やみんなが使う物を大切にできる人になつて欲しいです。

私は、「三つのあ」をこれからの自分の人生で大切にするとともに、「三つのあ」が児童の将来に必ず役に立つと信じ、日々、指導をしていきたいと思っています。

鏡野町生徒指導推進連絡協議会

鶴喜小学校 桑田 治

# のびのびひろば

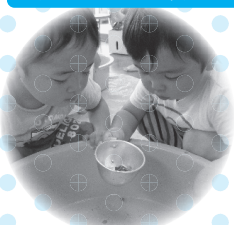
(鶴喜保育園)

おたまじゃくし  
かわいい!

## 鶴喜保育園に夏がやってきた!

楽しみにしていた、夏がやってきました!鶴喜保育園の園庭では、毎日子どもたちの元気な声が響いています。砂場では、山を作ったり、といでトンネルを作ったりして、友達と協力して作る楽しさを味わっています。色水遊びでは、友だちとジュース屋さんごっこでのやりとりを楽しんだり、色を混ぜたら違う色になることを発見したり、どのような色になるのか試したり・・・、「なんでだろう?」と不思議に感じたり「こうしてみよう!」と試してみたりしながら学びの芽をはぐくんでいます。

田んぼで捕まえた  
オタマジャクシに興味深々...



水、入れてあげるな!



砂場遊び

ここに橋  
作ろうや!



どんな色が  
できるかな?



色水遊び

緑色になった!!



砂山の滑り台  
完成!

水鉄砲



よく  
狙って!!

お座りやっせ!  
いすどっせ!



ひざに乗せてゆらします。



あんまり乗ったら  
落ちまっせ!

「落ちまっせ」で足を広げて落とします